

SEL (Social and Emotional Learning) の高等教育への適応

オーガナイザ：山川修（福井県立大学），藤平昌寿（帝京大学），
田中洋一（仁愛女子短期大学），多川孝央（九州大学），
中村一浩（慶応義塾大学）

はじめに：

本年度のJSiSEの全国大会では、企画セッションで同タイトルのセッションを開催します。

SELは実習形式で体験していただくのが体感的に理解する近道だと考えていますので、論文主体の企画セッションとタイアップして、実習主体のプレカンファレンスも実施いたします。

趣旨説明：

一昨年まで2年間、このメンバーで「対話（dialogue）は学習にどのような役割を果たしているのか」というテーマの企画セッションとプレカンファレンスを実施して参りました。昨年からはそれをSEL（Social and Emotional Learning）の枠組みでとらえ直して、企画しています。

文部科学省の新指導要領にある「主体的で対話的で深い学び」の具体的な実施方法とSELは重なることが多いと考えられます。SELの重要な5つの力として、「自己への気づき」「他者への気づき」「自己のコントロール」「対人関係」「責任ある意思決定」があります。対話はこのうち、自己への気づき、他者への気づき、対人関係に、主体性は自己コントロール、責任ある意思決定に大きく関わってきていると考えられます。

今年のプレカンファレンスでは、こういったことを踏まえて「哲学対話」の実習を行い、対話を通してSELの体験的理解を目指したいと考えています。

内容：

- 9:00～9:20 趣旨説明
- 9:20～10:50 「哲学対話」の体験（グループワーク）
- 11:00～11:50 参加者全員の対話によるSELの探求

注意事項：

定員が20名です。参加希望の方はyamakawa@fpu.ac.jp（山川）まで事前にご連絡ください。空きがあれば当日参加可能です。